

## 杜鞍会役員会・事務局幹事会議概要報告

開催日時 2021.9.25 13:00~

場所 ハーネル仙台

出席者 横山会長、工藤北日本支部長、久保田関東支部長、上地西日本支部長  
星事務局長、井ノ口幹事、氏家幹事、吉田幹事（オンライン参加）、武富幹事  
（オンライン参加）

### 1 会長あいさつ

コロナ禍のため、タイムリーに新体制による会議を開催できなかった。杜鞍会としての考え方について共通理解を図っていききたい。協力をお願いしたい。現役部員が参加できなかったことは、現状把握できないので残念である旨あいさつがあった。

### 2 会長を議長に各項目について審議がなされた。

#### ① 乗馬部に対する支援、特に財政支援について、

井ノ口幹事より、乗馬部の収入源とその構成について、部員負担が総収入の50~60%、杜鞍会支援金は14~16%であることの説明があった。なお、資料によると、H27~H31/R1の総収入額は約600~870万円（大学よりの現物支給を除く）である。

また、大学の基金に関して、支援課からは、「馬の移動にかかわる馬運車代・運転手の人件費」、「馬具、飼料などを試合会場に輸送するのに要するレンタカー代、ガソリン代」、「部員（人）の移動、宿泊にかかわる旅費」についていずれも支出可能との回答をいただいている旨の紹介があった（ただ、旅費については、困難な点あり）。

支援の在り方について会議の中では、使途について遠征費などに絞ることはどうか、馬匹の頭数についての適否、支援の占める割合が少ないことから使途を限定するのはどうか、さらに大学からの支援について、支援課とのこれまでの折衝の経過などが話題になった。何れにしる、部員の意向を伺う必要があるという事になり、次の事項に移った。

#### ② 予算書について

予算書の項目については、総会でも問題提起されていたため、事務局で案を提示した。支部補助は、支部配分にすること、金額は一律5万円とすること、役員や幹事が杜鞍会の用務に出席する場合の実費旅費支給について議論された。これらを踏まえ、次年度の予算を作成し、総会に諮ることとなった。また、会報のデジタル化についても話題になり、会員の年代も考え、当分は現在の紙媒体を継続することなどが話された。

#### ③ 特別会計の設置趣旨、名称及び使途などについて

名称は特別会計、趣旨は特別の場合という事で現在のとおりとす。なお、ゆうちょ銀行の総合口座に定額貯金として積み立てる。

④ 事務局担当と運営について

幹事間の共通理解として定めた覚書について報告された。また、乗馬部との連絡体制を明確にする必要があるとの意見があった。

⑤ WEB サイトに関する基本方針について

了承され資料庫にアップされた。

⑥ 役員会の開催と事務局との協議について

例年の総会前にセットすることとする。

⑦ 小委員会細則について

形骸化していることから次年度の総会で廃止の方向で諮る。

⑧ 慶弔規定については、原則弔電とする内容で事務局が原案を定める。

3 その他の中では、長期的な支援の在り方について考えるべき、名簿管理の在り方などが話題に上った。

文責 事務局：星（昭和 45 年卒）